

19万人のひろば



本市が舞台の映画「ゆずりは」の完成試写会が行われました

6月4日に、有楽町朝日ホールで映画「ゆずりは」の完成試写会が行われ、映画に出演した登壇者の舞台あいさつがありました。服部市長が、本名滝川広志として初主演されたコロケさんに花束を贈りました。この映画は「死」と向き合う現場で命の尊さと大切な人への思いを描く内容です。映画は今日から、TOHOシネマズ八千代緑が丘で特別先行上映。明日、16日(土)から全国の劇場で公開が予定されています。



©「ゆずりは」製作委員会

▲コロケさん(左)に花束を贈りました。右は加門幾生監督

米国のチア選手権で初優勝 市内在住の4人が市長を表敬訪問

小・中学生のチアリーディングチーム「ふなばしチアリーディングクラブSKEWES」が、3月10日・11日にアメリカフロリダ州で開かれた、UCAチアリーディング全米選手権大会の「Level2 small JuniorA」部門で初優勝しました。全米大会の出場権をかけた3月24日・25日の「USA ALL STAR 2018」でも優勝し、次回大会への推薦も受けています。メンバー19人のうち市内在住の4人が、5月22日に、コーチの中川さんと市長を表敬訪問しました。「みんなの応援のおかげで優勝できて、自信につながり

ました。もっと上位の大会で優勝目指して頑張りたいです」と意気込みを語りました。輝く笑顔で夢を叶えて欲しいですね。



▲左からコーチの中川陽子さん、宮本真由さん、久野澄音さん、栗田陽詩さん、柿岡倅穂さんと服部市長

管工事協同組合から土のう2,000袋が寄贈され、市から感謝状を贈りました

八千代市管工事協同組合から、社会貢献活動の一環として、土のう2,000袋が市に寄贈されました。27年の寄贈に続き、今回で2回目。5月23日、市から同組合に対し、防災対策の推進に感謝の気持ちを込めて、感謝状と記念品を贈りました。

土のうは、台風やゲリラ豪雨への備えとして活用していきます。



▲36人で半日かけて土のうを作りました

八千代のニンジンが一番だね ニンジンチャリティを開催

市内では、春夏ニンジンの生産が盛んで国の指定産地になっています。5月19日「にんじんチャリティーイベント」が八千代ふるさとステーションで開催され、約100人が行列を作りました。

このイベントは、毎年行われるニンジンの共進会に出品された200kgのニンジンをも、皆さんにも食べてもらおうと始まった企画。募金した人に、サイコロを振ってもらい、出た目の本数のニンジンをプレゼントしました。集めた募金は、被災地での活動支援のために日本赤十字社へ送られました。参加者は「八千代のニンジンが甘味が強くておいしい」と絶賛。しぼりたてニンジンジュースの試飲やニンジンクイズも行われ、家族連れなどたくさんの方が楽しみました。



▲たくさんニンジンがもらえますように

元AKB48・千葉県道の駅ナビゲーターの藤江れいなさんが道の駅の魅力を紹介します

5月15日、元AKB48のメンバーで千葉県道の駅ナビゲーターの藤江れいなさんが、ふるさとステーションと農業交流センターを訪れました。各県の道の駅では「ドライブ好きな人たちのための地域情報誌フリーペーパー」を配布しています。今回は「千葉県版 道の駅」で紹介するため、テナントや直売所を回って撮影しました。5月に開店したばかりの店では、シュー生地野菜を挟む新感覚サンドイッチについて、また、4月にオープンしたレストランでは、道の駅で販売している野菜が楽しめるメニューについて、興味深く話を聞きました。



▲岩崎社長から市産の野菜の魅力を聞きました

八千代歌壇

佐波 洋子選

夕食に節分の豆添えられて病床で知る季節のうつろい

はらはらと梅の花びらひるがえり風吹く度に風と連れ立つ

さやうなら海浜幕張ビル風が吹きてスクランブルの黄昏

妻亡くしひとりの夕餉に箸をおき孤悲する友は酒飲みに出

る君の住む駅に降りたち君の語る遠き落陽の富士見て帰る

十歳の男孫に好きな子はと問えば「もう別れたね」と弟が

言う 鶏の関の声上ぐる目覚ましに起き出で晴れの一日始まる

庭石に孫が置きたるつくしんぼ忘れたるまま春の日暮れる

選評 一首目、入院中は世の中の時間とは別の時間の流れ方を。夕食の膳の豆によって節分と気付き、病室で過ぎた時間と移る季節を実感したのだろう。寂しい心境が伝わる。二首目、初句はやや平凡だが、細やかな描写で下の句に繊細な情感を出した。心の安定感を感じさせる。三首目、三句以下は無機質なビル街の夕暮に隔々降り立った景とも取れるが、初句に海浜幕張という町への愛着が感じられる。町を去るのは転居、退職、色々あろうが、暗示する言葉があると更に良い。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

足音を立てれば止まる笑い声 大和田新田 江頭 牛歩

中吊りが脂肪減らせと文字で言う 大和田 塔ヶ崎咲智子

初出社親の苦勞をそと剥ぐ 八千代台東 篠崎ふみお

極刑が冤罪となる鑑定書 村 上 佐藤 昌平

老いて今転ばぬように手をつなぐ 大和田新田 矢澤 光江

犬散歩引いてる僕とペアルック 村上団地 阿部ちえこ

真夏でも熱燗が好き美味しい酒 村上団地 成瀬 謙三

故里の木霊は長く山に消え 緑が丘 桃井 もも

